

情報提供日	平成30年(2018年)2月8日(木)
問い合わせ先	広島市植物公園 栽培・展示課 佐藤、濱谷 管理課 泉川 TEL 082-922-3600

いち早く春の訪れを告げる シナマンサクが満開

広島市植物公園では、シナマンサクの花が見頃を迎えています。シナマンサクは中国原産で、日本のマンサクより花の時期がやや早く、また、花が咲くころに前年の枯れた葉が残ったままになりやすいという、変わった特徴があります。

「マンサク」の名の由来は「まず咲く」が訛ったとも言われています。語呂から「豊年満作」のイメージもあり、おめでたい花として親しまれています。

シナマンサクと日本のマンサクの交配種(インターメディア)の園芸品種なども少しずつ開花が始まっています。日本産のマンサクは咲き始めです。マンサクの仲間の見頃は2月下旬まで続く予定です。



橙色花 インターメディア 'イエレナ'



赤色花 インターメディア 'ルビーグロウ'



いち早く満開になったシナマンサク



シナマンサク 'プレビパタラ'

開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで)
入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料
休園日 毎週金曜日